

学校整理番号(115)

動物看護科 昼間部

動物看護コース

1年生シラバス



学校法人 中村学園
専門 学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス (授業計画)

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース				
科目名	動物形態機能学				必修・選択必修の別	必修				
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位			
	通年	3 単位								
	2年	前期	単位	後期	単位					
	通年	単位								
	3年	前期	単位	後期	単位					
	通年	単位								
担当講師	櫻井 峰香 実務経験 有 獣医師免許取得後、動物病院での勤務経験有。									
授業概要	形態機能学は動物の身体の構造や働きを学ぶ分野であり、すべての基礎となる知識を身につける。					授業形式	講義			
到達目標	動物（特に犬猫）の体の仕組みと働きを理解し、それを基にして健康な状態がどの様に維持されているか説明できる。また、それを基礎として病態を理解する事が出来る。									
教科書・教材・服装等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1巻 動物形態機能学									
授業計画	授業内容									
1~3	序論 (生体の成り立ち、細胞小器官)									
4~6	序論 (細胞周期 体液 細胞活動 物質移動)									
7~8	組織について学ぶ。									
9~11	皮膚について学ぶ。 (体温調節についても)									
12~13	感覚器系について学ぶ。 (眼)									
14	感覚器系について学ぶ。 (耳)									
15	中間試験									
16~17	中間試験解説 感覚器系について学ぶ。 (その他)									
18~19	骨の特徴について学ぶ。 (構造、分類など)									
20~21	骨の特徴について学ぶ。 (種類)									
22	骨の特徴について学ぶ。 (連結)									
23	筋系について学ぶ。 (特徴、収縮の仕組み)									
24~25	消化器系について学ぶ。 (口腔、歯)									
26~27	消化器系について学ぶ。 (食道、胃)									
28	消化器系について学ぶ (小腸)									
29	前期の内容を確認し、テスト対策を行う。									
30	前期定期試験									
31	定期試験解説 消化器系について学ぶ。 (大腸)									
32~34	肝臓について学ぶ。 (構造、働き)									
35	胆嚢について学ぶ。									
36	脾臓について学ぶ。									
37~38	栄養素の消化吸收過程について学ぶ。									
39~40	循環器系について学ぶ。 (血管 心臓の構造)									
41~43	循環器系について学ぶ。 (心臓における血液の流れ、心周期、心音、心電図)									
44	後期の内容を確認し、テスト対策を行う。									
45	後期定期試験									
成績評価方法	・出席率			定期試験	○		筆記試験			
	・定期試験や授業内テスト				○		実技試験			
	・平常点 (提出物・授業参加意欲など)				○		実施しない			
成績評価基準	A評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている								
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト70~89点・平常点 普通								
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60~69点・平常点 やや劣る								
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合								

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	動物行動学				必修・選択必修の別		必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。							
		通年	2 単位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	千田 純子												
	実務経験	有	獣医師免許取得をはじめ、数々の動物関連の資格取得後、家庭犬のしつけ教室を開業。千葉市動物保護指導センターで収容犬の評価・譲渡に向けてのアドバイスを行っている。千葉県動物愛護推進員。										
授業概要	主に犬や猫に特有な、あるいは種を超えて共通する行動様式と行動の発現機序、問題行動の原因と対処法、予防法を学ぶ。動物福祉に配慮した飼養管理や獣医療を実施するための基礎となる考え方を身につけるとともに問題行動への対処や予防に必要な知識を習得する。					授業形式	講義						
到達目標	動物行動学の基本を理解し、学習理論や問題行動についての知識を深め、その知識に基づいて、将来動物看護師として、飼い主さんの相談に対応したり、問題行動の予防や行動修正法の指導を行うための基礎的な知識と技能を身につける。												
教科書・教材・服装等	応用動物看護学6 動物行動学 インタースー・授業内配布プリント												
授業計画	授業内容												
1~2	授業説明・第1章 動物行動学の基礎概念・行動の進化と適応・家畜化												
3~4	第2章 維持行動の意味と効果：摂食行動・飲水行動・排泄行動・身繕い行動・護身行動												
5~7	第3章 社会行動:群れの社会構造・生殖行動・コミュニケーション行動・敵対行動・親和的行動												
8	第4章 行動の発現のしくみ：行動の動機づけと脳による制御・行動の周期性												
9~11	第5章 行動の発達と学習：行動の発達・遺伝的要因と環境要因												
12	学習理論：馴化と感作・古典的条件づけとオペラント条件づけ												
13~14	学習理論：オペラント条件づけ・三項随伴性・条件付けの消去・反応形成など												
#	前期まとめ												
#	学習理論：オペラント条件づけ・三項随伴性・条件付けの消去・反応形成など												
17~21	第6章 問題行動と行動診療												
22~24	第7症 犬と猫における問題行動 攻撃行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ												
25~26	不安・恐怖行動：診断方法・対処法・症例を学ぶ。												
27	常同行動・高齢性認知機能不全：診断方法・対処法・症例を学ぶ。												
28~29	実際のケースを検討する												
30	後期まとめ												
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験						
	・平常点（授業参加意欲・提出物など）						実技試験						
	・認定試験						実施しない						
成績評価基準	A評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている											
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト75~89点・平常点 普通											
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60~74点・平常点 やや劣る											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス (授業計画)

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース			
科目名	動物栄養学				必修・選択必修の別	必修			
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位		
	通年	2 単位							
	2年	前期	単位	後期	単位				
	通年	単位							
担当講師	關 茜子								
	実務経験	有	動物病院勤務の中で培った知識、技術をもとに看護師として必要な知識の習得にいかす						
授業概要	前期には動物の健康維持に必要な6大栄養素の知識を生理学と絡めて学び、様々ななペットフードに記載されている専門用語を理解できることを目的とする。後期では栄養学総論に基づいて必要エネルギーの計算を取得し、ライフステージ別の栄養指導ができるよう学習していく。また栄養学に関連した疾病の知識を身につける。					授業形式	講義		
到達目標	6大栄養素の基本的な知識を身に付けることができる。犬と猫の栄養要求の違いを理解することができる。カロリーエネルギー計算を習得し、オーナーに指導することができる。								
教科書・教材・服装等	インターペー 動物栄養学								
授業計画	授業内容								
1	動物栄養学総論①栄養と栄養素とは？6大栄養素を学ぶ。								
2	動物栄養学総論②各消化器における消化吸收の仕組みを学ぶ。								
3	中毒について								
4	炭水化物①分類について学ぶ。								
5	炭水化物②消化吸收過程について学ぶ。								
6	炭水化物③機能について学ぶ。								
7	蛋白質①分類について学ぶ。								
8	蛋白質②消化吸收過程について学ぶ。								
9	蛋白質③機能について学ぶ。								
10	蛋白質④体内動態について学ぶ。								
11	ミネラル①ミネラルの性質について学ぶ。								
12	ミネラル②ミネラルの代謝について学ぶ。								
13	ミネラル③主要ミネラルの役割について学ぶ。								
14	前期まとめ								
15	前期試験								
16	ビタミン①脂溶性ビタミンの性質、役割について学ぶ。								
17	ビタミン②水溶性ビタミンの性質、役割について学ぶ。								
18	ビタミン③ビタミンの機能、体内動態について学ぶ。								
19	脂質①分類について学ぶ。								
20	脂質②消化吸收について学ぶ。								
21	脂質③機能について学ぶ。								
22	脂質④体内動態について学ぶ。								
23	6大栄養素の水について学ぶ。								
24	犬と猫の歴史、食性、消化機能、必要な栄養素の違いについて学ぶ。								
25	ライフステージ別① 犬猫の繁殖期における栄養学について学ぶ。								
26	ライフステージ別② 犬猫の成長期における栄養学について学ぶ。								
27	ライフステージ別③ 犬猫の維持期における栄養学について学ぶ。								
28	ライフステージ別④ 犬猫の高齢期における栄養学について学ぶ。								
29	BCS評価とカロリー計算を習得する。								
30	後期試験								
成績評価方法	・出席率(出席率が80%切るなら評価一つ下げます)				定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト						実技試験		
	・平常点(提出物・授業参加意欲など)						実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率99~90%以上・定期試験や小テストにて8割以上							
	B評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テストにて7割以上							
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テストにて6割以上							
	F評価	出席率80%以下・定期試験や小テストにて6割以下、授業態度が著しく悪い							

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース			
科目名	動物看護学概論				必修・選択必修の別	必修			
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位		
		通年	単位						
	2年	前期	単位	後期	単位				
		通年	単位						
	3年	前期	単位	後期	単位				
		通年	単位						
担当講師	加納 奈奈								
	実務経験	無							
授業概要	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。						授業形式 講義		
到達目標	動物看護の基本となる概念、動物看護の提供体制、動物看護師の社会的立場を理解し動物看護について考え方探求する姿勢を習得する。								
教科書・教材・服装等	ノート								
授業計画	授業内容								
1	授業説明、初回アンケート								
2	看護の成り立ち、意味								
3	動物看護の基本となる概念①：動看護の目的と概念								
4	動物看護の基本となる概念②：獣医療の歴史と動物看護師の誕生								
5	動物看護の基本となる概念③：看護の歴史（ナイチンゲール、ヘンダーソン）								
6	動物看護の基本となる概念④：獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領								
7	動物看護の基本となる概念⑤：動物にとってのQOLと健康								
8	動物看護の基本となる概念⑥：動物看護師の役割								
9	動物看護の提供体制①：インフォームドコンセントについて								
10	動物看護の提供体制②：インフォームドコンセントの歴史								
11	動物看護の提供体制①労働安全衛生、危険の防止、対処法								
12	動物看護師の社会的立場①：動物病院の役割								
13	動物看護師の社会的立場②：動物病院の役割②、飼い主指導								
14	動物看護師の社会的立場③：国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて								
15	前期復習								
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト						実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験90点以上・平常点 優れている							
	B評価	出席率80%以上・定期試験70点以上・平常点 普通							
	C評価	出席率80%以下・定期試験平均点以下・平常点 やや劣る							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	看護実践学					必修・選択必修の別	必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	1 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位						
		通年	単位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	中村 琴音												
	実務経験	無											
授業概要	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。					授業形式	講義						
到達目標	動物看護師としての基本マナー、動物看護の協力体制、動物看護師の社会的立場を理解し動物看護について考え方探求する姿勢を習得する。												
教科書・教材・服装等	タブレット、配布資料												
授業計画	授業内容												
1~2	ホスピタリティとはどのような精神なのかを学びおもてなしの心を身につける。												
3	動物病院に来る飼い主様の心理を考えられる看護師を目指す。												
4~5	病院内における社会的マナー、飼い主様に対する接遇のマナーを学ぶ。												
6	敬語を理解し、接客業務時のトラブルを未然に防げるようになる。												
7	動物病院独特の言い回しや言葉遣いを学び、実践する。												
8	病院スタッフ内の報連相の重要性を学ぶ。												
9~10	病院で看護師が扱う文書や動物病院で働く社会人として関わる文書について学ぶ。												
11	カルテの取り扱いや各種証明書発行等の業務を実践する。												
12	飼い主様への啓発の重要性や啓発の際のポイントを学ぶ。ポスター作成。												
13~14	ポスター提出												
15	定期試験												
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験						
	・定期試験や小テスト						実技試験						
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない						
成績評価基準	A評価	出席率100~90%以上・定期試験や小テスト100~90点・平常点 優れている											
	B評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 普通											
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト79~60点以上・平常点 やや劣る											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

12	⑥ 旋尾線虫；有棘頸口虫、剛棘頸口虫、ドロレス頸口虫、日本頸口虫、東洋眼虫			
13	⑥ 旋尾線虫；バンクロフト糸状虫、イヌ糸状虫			
13	愛玩動物の寄生虫、特に線虫類に対する検査法と治療法			
14	蠕虫類 線虫理解度確認演習と解析			
15	前期試験			
(16~23)	2. 吸虫類			
16	① 腸管寄生吸虫：横川吸虫、浅田棘口吸虫、壺型吸虫			
17	② 肝臓寄生吸虫：肝吸虫、肝蛭			
18	③ 肺・胸腔寄生吸虫：ウェステルマン肺吸虫、宮崎肺吸虫			
19	④ 血管系寄生吸虫：日本住血吸虫、マンソン住血吸虫、ビルハルツ住血吸虫			
(20~23)	3. 条虫類			
20	① 擬葉目；日本海裂頭条虫、広節裂頭条虫、大複殖門条虫、マンソン裂頭条虫			
21	② 円葉目テニア属；瓜実条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、小形条虫、縮小条虫			
22	③ 円葉目エキノコックス属；多包条虫（エキノコックス）、単包条虫（エキノコックス）			
23	蠕虫類吸虫、条虫 理解度確認演習と解析			
(24~26)	【衛生動物】			
24	① ダニ類；マダニ、ワクモ、トリサシダニ、イエダニ、ツメダニ、イヌニキビダニ、センコウヒゼンダニ、ミミヒゼンダニ			
24	② シラミ・ハジラミ類；シラミ、ハジラミ			
25	③ ノミ類；イヌノミ、ネコノミ、ヒトノミ			
25	④ 双翅類他；蚊、ハエ、アリ、クモ			
26	衛生害虫 理解度確認演習と解析			
(27~29)	【寄生虫症の診断と検査】			
27	1. 研究・実習用光学顕微鏡の使い方構造、虫体の固定、保存、染色法、血液検査法、虫卵検査法、セロファンテープ法等			
28	2. EPG (Eggs Par Gram) 算定；McMaster法、酵素免疫測定法（ELISA法）等			
29	寄生虫症の診断と検査 理解度確認演習と解析			
30	後期試験			
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない
成績評価基準	A評価	出席率99~90%以上・定期試験や小テスト99~90点以上・平常点 普通		
	B評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 やや劣る		
	C評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テスト79~70点以上・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		

シラバス (授業計画)

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース						
科目名	動物内科看護学				必修・選択必修の別	必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位					
		通年	2 单位									
	2年	前期	単位	後期	単位							
		通年	単位									
担当講師	蟻川 晃司											
	実務経験	有	獣医師免許取得後、小動物臨床20年以上									
授業概要	動物看護の視点での動物の扱い方を学び、いろいろな検査の意義、方法を学び、その結果からわかる疾病について知る。					授業形式	講義					
到達目標	検査を正確に行うことが出来て、結果から予測される状態を把握し、更に追加する検査項目について考えることが出来るようになる。											
教科書・教材・服装等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻											
授業計画	授業内容											
1	動物の健康保持・増進について理解する											
2	バイタルサインについて更に深く理解し、体重測定の重要性、一般状態を理解する。											
3	全身検査①循環器系（可視粘膜、CRT、脱水の評価）を学び、病態を理解する。											
4	全身検査②循環器系：心臓の構造や働きを理解し、代表的な心疾患を知る。											
5	全身検査③体表系（被毛、皮膚、リンパ節）を検査し、病態を知る。											
6	全身検査④顔面（目、鼻、口腔内）を検査し、考えられる病態を知る。											
7	全身検査⑤耳の構造を理解し、検査の方法を学び、意義を理解する。											
8	全身検査⑥生殖器系（♂♀外陰部乳腺のチェック）を検査し、代表的な疾患を知る。											
9	全身検査⑦呼吸器系を検査し、そこからわかる代表的な疾患を知る。											
10	尿検査①尿検査の意義と採尿方法について学び、理解を深める。											
11	尿検査②物理的性状について理解する。											
12	尿検査③化学的性状について理解する。											
13	前期試験（授業内）											
14	前期試験返却・答え合わせ											
15	尿検査復習											
16	神経学的検査①											
17	神経学的検査②											
18	便検査①糞便検査の意義、性状、肉眼的検査を理解する。											
19	便検査②糞便検査（顕微鏡検査）を理解する。											
20	便検査③糞便検査（寄生虫検査）について理解する。											
21	便検査④ 便検査からわかる消化器疾患について学ぶ。											
22	皮膚検査①方法、意義を理解し、病変について学ぶ。											
23	皮膚検査②皮膚スクリーニング検査、真菌検査について理解する。											
24	皮膚検査③皮膚検査からわかる皮膚疾患について学ぶ。											
25~27	眼科検査①検査方法およびそこからわかる疾患について知る。											
28	後期復習											
29	後期試験											
30	後期試験返却・答え合わせ											
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験							
	・定期試験や小テスト				実技試験							
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				実施しない							
成績評価基準	A評価	出席率100%・小テスト80%・平常点優れている										
	B評価	出席率99~90%以上・小テスト70%以上・平常点普通										
	C評価	出席率89~80%以上・小テスト60~70%以上・平常点やや劣る										
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合										

シラバス (授業計画)

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース			
科目名	動物臨床看護学総論				必修・選択必修の別	必修			
実施期	1年	前期 通年	単位 2 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。 			
	2年	前期 通年	単位 単位	後期	単位				
	3年	前期 通年	単位 単位	後期	単位				
担当講師	加納 奈奈								
	実務経験	無							
授業概要	動物の臨床看護に必要な知識を習得する					授業形式	講義		
到達目標	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する								
教科書・教材・服装等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻（動物臨床看護学総論）								
授業計画	授業内容								
1	動物臨床看護学総論について、概論との繋がり								
2	「動物看護業務①」チーム獣医療における動物看護師の役割について								
3	「動物看護業務②」ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する								
4	「動物看護業務③」自己管理、防止システムについて理解する								
5~6	「動物看護業務④」日常の健康管理について①②								
7	「動物看護業務⑤」デンタルケアについて								
8	「動物看護業務⑥」ライフステージ別健康管理①②								
9	「動物看護業務⑦」パピーの飼育管理について								
10	「動物看護業務⑧」老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する								
11~12	「動物看護過程の展開①」動物看護過程の目的や意義、方法について理解する								
13	「動物看護過程の展開②」各ステップについて理解する								
14	前期復習								
15	テスト返し、前期の復習								
16	「動物看護過程の展開④」問題の明確化と動物看護計画の立案について								
17	「動物看護過程の展開③」アセスメントの理解、事例ごとの個別性、情報の整理と解釈、アビリティモデル								
18	「動物看護過程の展開⑤」動物看護過程の実施と評価について								
19	「診療記録①」カルテの作成方法								
20	「診療記録②」動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について								
21	感染症の予防と対策								
22~23	ワクチンについて①								
24~25	ワクチンについて② 犬のワクチン								
26~27	ワクチンについて③ 猫のワクチン								
27~28	狂犬病について①②								
29	「ターミナルケアに関わる技術」								
30	前期、後期復習								
成績評価方法	定期試験や小テスト				定期試験	○	筆記試験		
	平常点（提出物・授業参加意欲など）						実技試験		
							実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率90~99%以上・定期試験や小テスト91点~100点・平常点 優れている							
	B評価	出席率80~89%以上・定期試験や小テスト76~90点以上・平常点 普通							
	C評価	出席率80%以下・定期試験や小テスト61~75点以上・平常点 やや劣る							
	F評価	出席率80%以下・定期試験や小テスト60点以下・平常点 劣る							

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	犬学				必修・選択必修の別		必修						
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位						
		通年	単位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	富澤 彩												
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフレディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、ドッグアロマケア講座等を開催。										
授業概要	①犬の起源・様々な犬種が生まれた経緯。 ②畜犬団体によるグループ分け・様々な犬種の沿革・犬種特性・について。 ③犬体名称・嗜み合わせのバリエーション。 上記の事を学び、様々な犬種への理解を深めその特徴にあった扱い方の違いを					授業形式	講義						
	様々な犬種の沿革や性格などの特性を理解し、その特徴に合わせた接し方が出来る。 飼い主さまへアドバイスするための知識、適切かつ安全に犬を飼育管理をする為の基本的な知識の習得。												
教科書・教材・服装等	「最新犬種図鑑」、筆記用具												
授業計画	授業内容												
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明・世界及び日本の畜犬団体												
2	犬の起源・オオカミとの違い・様々な犬種が生まれ経緯												
3	JKC以外のグループ分け・犬種のルーツを知ることの重要性												
4	1Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
5	2Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
6	3Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
7	4Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
8	犬体名称・嗜み合わせ・歯列・歯の名称												
9	5Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
10	6Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
11	7Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
12	8Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
13	9Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
14	10Gの特徴・属する犬種（沿革・犬種特性、性格など）												
15	復習 定期試験範囲の説明と対策												
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験						
	・定期試験						実技試験						
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない						
成績評価基準	A評価	出席率80%以上・定期試験90点以上・平常点 優れている											
	B評価	出席率60%以上・定期試験80点以上・平常点 普通											
	C評価	出席率50%以上・定期試験70点以上・平常点 やや劣る											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	猫学				必修・選択必修の別	選択必修							
実施期	1年	前期	単位	後期	1 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位						
		通年	単位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	濱保 衣都子												
	実務経験	有	The Cat Fanciers' Association, Inc (CFA) 公認審査員、国内外キャットショーで審査員をしている。猫のブリード経験30年以上、現在もブリードをしている。										
授業概要	猫の基本的な体の構造、行動学、老猫を管理・飼育知識を学ぶ。猫に馴れていくために可能な限り猫持込で授業を進める。ブリーダーとして患者としての経験や体験談、現状当キャッテリーでの猫達のリアルタイムを伝えていく。猫の治療などGoogle classroomをフルに使いながら、動画資料を提供。						授業形式 講義						
到達目標	犬とは異なる猫という生き物の理解を深め、基本的知識を身に付ける。												
教科書・教材・服装等	パワーポイント使用。												
授業計画	授業内容												
1	猫と触れ合い猫に馴れる												
2	犬と猫の違いについて、人間との関わりや歴史												
3 ~ 4	猫の体の仕組みと働き												
5 ~ 6	猫の感情表現（行動学）												
7 ~ 9	猫の習性（行動学）												
10 ~ 13	猫の攻撃行動（行動学）												
14	猫の老化・老衰												
15	猫の介護の仕方												
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験						
	・定期試験や小テスト						実技試験						
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない						
成績評価基準	A評価	出席率100%・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている											
	B評価	出席率99~90%以上・定期試験や小テスト99~90点以上・平常点 普通											
	C評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 やや劣る											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	小動物学					必修・選択必修の別	選択必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位						
		通年	2 单位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	乙守 智奈美												
	実務経験	有	獣医師。動物病院勤務。 獣医行動プラクティショナー										
授業概要	小動物のそれぞれの特徴や病気などについて学び、幅広い動物の知識を学習する。						授業形式 講義						
到達目標	色々な種類の小動物の生態や飼養管理方法、なりやすい病気などの知識を得る												
教科書・教材・服装等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻・配布資料												
授業計画	授業内容												
1	自己紹介・授業の説明												
2 ~ 4	ウサギの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
5 ~ 6	ハムスターの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
7 ~ 8	モルモットの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
9 ~ 10	チンチラの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
11	デグーの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
12 ~ 13	前期の復習												
14	前期定期試験												
15	課題（小動物の飼育について）												
16	試験返却												
17 ~ 19	フェレットの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
20 ~ 22	愛玩鳥の生態、飼養管理、かかりやすい病気												
23	カメの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
24	ハリネズミの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
25	フクロモモンガの生態、飼養管理、かかりやすい病気												
26 ~ 27	繁殖まとめ												
28 ~ 29	1年間の復習												
30	後期定期試験												
成績評価方法	・出席率			定期試験	<input type="radio"/>	筆記試験							
	・定期試験や小テスト					実技試験							
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない							
成績評価基準	A評価	出席率80%・定期試験90~100点											
	B評価	出席率80%・定期試験75~89点											
	C評価	出席率80%・定期試験60~74点											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	人間動物関係学				必修・選択必修の別		選択必修						
実施期	1年	前期 通年	単位 2 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位						
	2年	前期 通年	単位 単位	後期	単位								
	3年	前期 通年	単位 単位	後期	単位								
	千田 純子・乙守 智奈美												
	実務経験	有	獣医師免許・認定心理士資格取得。数々の動物関係の資格を取得し、JAHA認定パートナーズとして、動物介在教育、動物介在活動、動物介在療法などの現場を経験し、千葉県動物愛護推進員として動物と人との問題に長年関わってきた。										
	動物が人間社会で果たしている役割やその背景、歴史について学び、人と創物の関係を心理学的および、社会学的観面から、その実態、課題などを含めて理解する。				授業形式 講義								
到達目標	動物看護師として、人と動物との関係を理解しながら、現在の動物に関わる虐待や多頭飼育崩壊などの問題に対して理解し、問題が大きくならないうちにいち早く介入できるように対処法を学ぶ。												
教科書・教材・服装等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4巻 人と動物の関係学 EDUWARD Press 授業内配布プリント												
授業計画	授業内容												
1	自己紹介・授業説明・授業の概要と目標												
2 ~ 4	第1章 人と動物の関わりの歴史												
5 ~ 6	第2章 現代の人と動物の関わり												
7	第3章 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育 定義と歴史												
8	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の分類												
9	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の歴史												
10	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の動物がもたらす効果と意義												
11	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の効果的に実施するための条件など												
12	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育での動物のストレス												
13	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の実際の手順												
14	復習												
15	前期まとめ												
16	前期復習 第3章 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育												
17	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の実際の手順												
18	学校飼育動物の目的や実際、愛玩動物看護師との関わりについて学ぶ。												
19	第4章 人と動物の関わり 動物を飼育する歴史												
20	ペットの飼育について												
21	ペットへの愛着と依存について												
22	ペットロスの定着と対策について												
23	復習												
24	第5章 人間の福祉と愛玩動物の関わり 動物虐待の定義と背景												
25	多頭飼育崩壊の定義と背景について												
26	愛玩動物が子供や老人に与える影響について												
27	加齢による飼育困難について、その対策												
28	動物医療ソーシャルワーカーについて												
29	復習												
30	後期まとめ 総まとめ												
成績評価方法	出席率		定期試験		<input checked="" type="radio"/>	筆記試験							
	定期試験や小テスト					実技試験							
	平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない							
成績評価基準	A評価	出席率90%・定期試験や小テスト90点・平常点 優れている											
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト75~89点以上・平常点 普通											
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60~75点以上・平常点 やや劣る											
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

25	ペット関連産業における感染症①				
26	ペット関連産業における感染症②				
27	ペット関連産業概論まとめ①				
28	ペット関連産業概論まとめ②				
29	ペット関連産業概論まとめ③				
30	試験				
成績評価方法	・出席率		定期 試験	○ 筆記試験	
	・定期試験や小テスト			実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100~90%以上・定期試験や小テスト100点~90点以上・平常点 優れている			
	B評価	出席率89~80%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 普通			
	C評価	出席率79~70%以上・定期試験や小テスト79~60点以上・平常点 やや劣る			
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合			

シラバス（授業計画）

58~60	尿検査②尿沈渣で見ことができる細胞成分を学ぶ			
61~63	尿検査③沈渣-1（細胞成分）と遠心機の使い方			
64~66	尿検査④沈渣-2（円柱、結晶成分） / 保定チェック			
67~69	扱い注意の犬の対応を学ぶ（口輪、エリザベスカラーが装着できるようになる）			
70~72	薬袋の書き方、読み方、専門用語について / 保定チェック（試験）			
73~75	シリンジ、針、バイアルの復習とアンプルの扱い方			
76~78	【猫実習】猫の各種保定法を習得する			
79~81	便検査①直接法の標本を作れるようになる			
82~84	便検査②直接法作成のチェック、スケッチ			
85~87	便検査③浮遊法の検査意義や手技を学び検査の実践ができるようになる			
88~90	便検査④便検査浮遊法スケッチ			
91~93	横臥位の保定法、♂尿カテーテル採尿デモ			
94~96	皮膚検査①テープ法、皮膚搔把検査の検査意義や手技を学び検査の実践ができるようになる			
97~99	皮膚検査②（ダーマキット）			
100~102	【猫実習】猫の扱い方、ケージキャリーからの出し入れの方法を実践できるようになる			
103~105	眼科検査①眼科検査保定、STT、触診による眼圧簡易チェックの検査意義や手技を学ぶ			
106~108	眼科検査②検眼鏡、フルオレセイン染色の検査意義や手技を学び検査の実践ができるようになる			
109~111	扱い注意の犬の対応（口輪、エリザベスカラー）			
112~114	撓側皮靜脈からの採血時の保定法を習得する			
115~117	採血各種保定法（サフェナ・頸靜脈）を習得する			
118~120	横臥位の保定法の復習を行う			
121~123	猫にやさしい診療について考える			
124~126	【猫実習】各種保定法			
127~129	横臥位の保定法の復習、仰臥位、腹臥位保定法			
130~132	一般家庭犬を通して様々な犬の扱いに慣れる			
133~135	実習でよく使う薬剤について			
136~138	採血保定の確認を行う（実技テスト）			
139~141	【猫実習】各種保定法			
142~144	1年間で学んだ検査の手技の確認を行う（実技テスト）			
145~147	1年間で学んだ検査の手技の確認を行う（実技テスト）			
148~150	後期で学んだ内容の確認を行う（試験）			
151~153	ワクチン実習に向けた事前講習を行う			
154~156	ワクチン実習を通して保定の重要性・予防の重要性を学ぶ			
157~159	ワクチン実習を通して保定の重要性・予防の重要性を学ぶ			
160~162	シリンジバイアル復習			
163~165	前期に学んだ検査の復習を行う（耳垢検査・尿検査）			
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験80点以上・平常点 優れている		
	B評価	出席率80%以上・定期試験70点以上・平常点 普通		
	C評価	出席率70%以上・定期試験60点以上・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		

シラバス（授業計画）

85~90	ケネル実習(点眼・投薬・保定について学ぶ)		
88~93	ケネル実習(点眼・投薬・保定について学ぶ)		
85~91	ケネル実習(フード種類・用途について学ぶ)		
88~94	ケネル実習(フード種類・用途について学ぶ)		
85~92	ケネル実習・学んだ事を活かして犬舎で実践		
88~95	ケネル実習(前期に学んだ事の復習、犬舎で実践)		
85~93	ケネル実習(前期に学んだ事の復習、犬舎で実践)		
88~96	ケネル実習(前期に学んだ事の復習、犬舎で実践)		
85~94	ケネル実習(前期に学んだ事の復習、犬舎で実践)		
88~97	ケネル実習・学んだ事を活かして犬舎で実践		
85~95	ケネル実習・まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践		
88~98	ケネル実習・まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践		
85~96	ケネル実習・まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践		
88~99	ケネル実習・まとめ。学んだ事を活かして犬舎で実践		
成績評価方法	・出席率		筆記試験
	・実技模擬試験や小テスト		定期試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○ 実施しない
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・実技模擬試験や小テスト85点以上・平常点 優れている	
	B評価	出席率89%～75%以上・実技模擬試験や小テスト80点以上・平常点 優れている	
	C評価	出席率74%～70以上・実技模擬試験や小テスト70点以上・平常点 やや劣る	
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合	

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース						
科目名	ドッグトレーニング実習				必修・選択必修の別	必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位					
		通年	2 单位									
	2年	前期	単位	後期	単位							
		通年	単位									
	3年	前期	単位	後期	単位							
		通年	単位									
担当講師	高橋 夏樹 実務経験 有 犬のしつけ教室や動物病院にて一般家庭犬のしつけに携わる。											
授業概要	病院の受付業務時にしつけ教室やパピークラスを薦られる様に人道的なトレーニング方法の理解を深める。預かり犬の散歩が出来るようにリードの持ち方や扱い方を学ぶ。					授業形式	実習					
到達目標	学習理論に基づいた犬のトレーニング方法と管理方法を身につける。											
教科書・教材・服装等	服装：実習着、スニーカー（インヒール不可）											
授業計画	授業内容											
1~3	実習に関する説明（内容、流れ、持ち物）。施設案内。ケンネルリードの使い方。リードの持ち方。ご褒美の											
4~6	犬プレートの見方。カルテの記入法。クレートからの出し入れ練習。抱き上げ練習。ご飯の与え方練習。											
7~9	座学/ストレスサイン。首輪の種類説明。首輪のフィッティング練習。誘導練習。											
10~12	座学/ボディランゲージ・カーミングシグナル。誘導練習（基本姿勢）。											
13~15	座学/犬を扱う前に知っておくこと・正しい犬への挨拶方法。基本姿勢+まて。解放の合図。											
16~18	座学/古典的条件づけ・オペラント条件づけ。名前、誉め言葉の条件づけ。人が近づくと犬は座る練習。											
19~21	座学/4つのD。座学/キーの付け方+実践。誘導練習（スピinn）。呼び戻し練習（確実性を上げる）。											
22~24	座学/ポリスドッグ。ノーズワークゲーム①											
25~27	座学/警察犬競技会（服従・防衛・臭気）。ノーズワークゲーム②。											
28~30	座学/ハンドリングの重要性。座学/クレートトレーニング+実践（合図）。											
31~33	座学/プレオーナークラス①。座学/3つの本能。クレートトレーニング（待機）。											
34~36	座学/プレオーナークラス②。食器のルール。リードのルール。											
37~39	確認テスト。座学/フードパッケージの見方。前期の総復習。											
40~42	前期の復習（リードの持ち方・抱き上げ方・誘導練習・キーの付け方）											
43~45	座学/クリッカー①+実践。											
46~48	座学/クリッカー②+実践。問題行動に対する改善と対策①											
49~51	ヒールポジション練習。一緒に歩く練習。問題行動に対する改善と対策②											
52~54	座学/知育玩具+実践。呼び戻し練習（環境に変化を付ける）。											
55~57	座学/生後0日からの社会化①。ハズバンダリートレーニング。											
58~60	座学/生後0日からの社会化②。オモチャの種類・使い方。											
61~63	特別授業/診療の中に行動学を取り入れる～愛玩動物看護師としてできること：さきがおか動物病院 野口ゆづ											
64~66	座学/引っ張り防止補助道具+装着+実践。											
67~69	座学/お散歩+実践（近隣の公園まで校外授業）。											
70~72	座学/パピークラス+実践。様々なものに慣らす（もの、音、人、食など）。											
73~75	座学/老犬のしつけ。介護・介助時の補助慣らし（プロンプト）。パンダナ慣らし。											
76~78	座学/行動問題。セトルダウン。											
79~81	確認テスト。座学/罰を扱う前に知っておくこと。1年間の総復習。											
成績評価方法	・出席率		定期試験			筆記試験						
	・確認テスト					実技試験						
	・平常点（授業参加意欲・協力性など）			○		実施しない						
成績評価基準	A評価	出席率80%以上・確認テスト90点以上・平常点 優れている										
	B評価	出席率70%以上・確認テスト70~89点以上・平常点 普通										
	C評価	出席率50%以上・確認テスト50~69点以上・平常点 やや劣る										
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合										

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科				コース名	動物看護コース							
科目名	コミュニケーション				必修・選択必修の別		必修						
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。							
		通年	1 単位										
	2年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
	3年	前期	単位	後期	単位								
		通年	単位										
担当講師	加納 奈奈・中村 琴音												
	実務経験	無											
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。						授業形式 講義						
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。												
教科書・教材・服装等	無し												
授業計画	授業内容												
1	学校生活について①												
2	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定												
3~6	学校行事についてのディスカッション												
7~8	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ												
9~10	クラスメートや目上の方への接し方												
11~12	期末試験に向けた学習への心構え												
13~14	夏休みの過ごし方について												
15	学校生活について②												
16~20	学校行事についてのディスカッション												
21~23	年末年始の過ごし方と年明け以降の計画												
24~26	期末試験に向けた学習への心構え												
成績評価方法	・出席率				定期試験	筆記試験							
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実技試験							
						○	実施しない						
成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている											
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合											

シラバス（授業計画）

4	どのような愛玩動物看護師が求められるかを考える。				
5~6	理想の愛玩動物看護師に近づくための道筋を作る。その過程でどのような目標が必要かを考える。				
7	実習指定病院紹介				
8~9	病院研究・希望調査				
10	必要書類の確認・履歴書の書き方				
11	履歴書作成				
12	身だしなみセミナー事前ガイダンス				
13	動物看護総合実習に向けたポートフォリオ作成や事前準備を行う。				
14	動物看護総合実習に向けたポートフォリオ作成や事前準備を行う。				
15~18	グループワーク① 行動目標を立てる				
19	グループワーク① 振り返り				
20	グループワーク② 他者を理解する				
21	グループワーク② 振り返り				
22	グループワーク③ 動物病院業務を考える				
23	グループワーク③ 振り返り				
24	グループワーク総復習・今後の目標設定				
25	目標を達成するには何が必要かを考える。				
27	動物看護総合実習の事後学習を行う。				
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験	
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）			実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			○ 実施しない	
成績評価基準	R評価	出席率80%以上・課題提出・平常点 優れている			
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合			

シラバス（授業計画）

24	消毒薬希釈の計算②：消毒薬希釈の計算を学ぶ。			
25	輸液速度・消毒薬希釈の計算の練習問題を実施し、解説を行う。			
26	後期復習			
27.28	授業内テスト			
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている		
	B評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 普通		
	C評価	出席率80%以下・定期試験や小テスト平均点以下・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		